

前回の水道料金改定について

(料金統一と激変緩和措置)

1

事業統合と水道料金について

統合に関する覚書（要旨）

1. 統合の期日は、平成28年4月1日とする。
2. 秩父広域市町村圏組合の一事務とする。
3. 現在ある事務所は、存続させ、施設管理を含めた包括的業務委託を進めながら事務所の統廃合を行う。
4. 職員は、関係団体から運営上必要な人員を派遣する。
5. 水道料金は、5年以内に統一する。統一するまでは、基準料金を設け、不足分は各市町から繰り入れる。
6. 4水道事業が有していたすべての資産等を引き継ぐものとする。



2

秩父地域の水道料金

～統合前の料金を今も継続～

供給単価

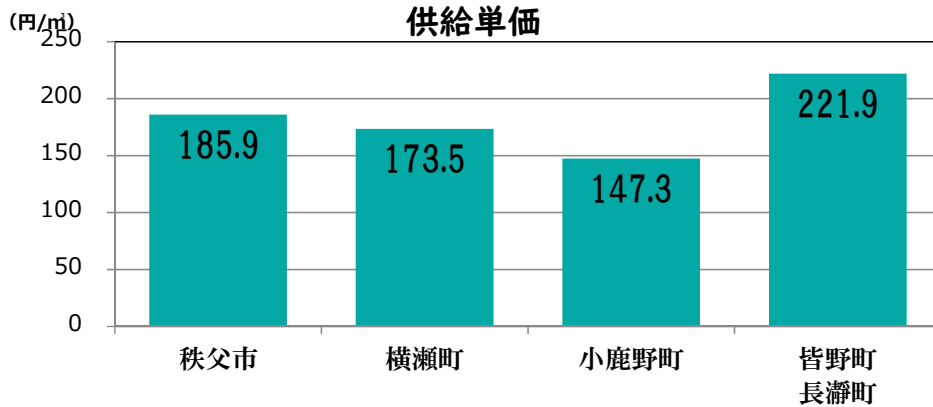
=

給水収益

÷

有収水量

○平成30年度 供給単価：水量 1 m³あたりの料金収入



<4地区平均>
現在の供給単価は
185.44円/m³



決して平等とは言えない状況にある

料金統一により
解決

3

秩父圏域の現在の水道料金

～統合前の料金を今も継続～

水道料金

=

基本料金

+

従量料金

○基本料金 2ヶ月の料金（税抜）

メータ口径の区分	秩父市	横瀬町	小鹿野町	皆野町・長瀬町
1 3 mm	1,960円	2,600円	1,900円	3,000円
2 0 mm	3,660円	3,000円	2,600円	5,000円
2 5 mm	5,300円	4,000円	3,200円	6,400円
3 0 mm	10,980円	8,000円	3,800円	10,000円
4 0 mm	10,980円	10,000円	5,400円	12,500円
5 0 mm	20,000円	13,000円	8,000円	23,600円
7 5 mm	42,600円	30,000円	19,400円	47,600円
1 0 0 mm	74,000円	50,000円	－	68,200円
1 0 0 mmを超えるもの	155,000円	－	－	－

基本料金：市町で異なる

4

秩父圏域の現在の水道料金

～統合前の料金を今も継続～

水道料金

=

基本料金

+

従量料金

○従量料金 2ヶ月の料金（税抜）

2ヶ月で1m ³ につき		秩父市	横瀬町	小鹿野町	皆野町・長瀬町
20m ³ 以下	口径20mm以下	70円	基本料金に含まれる		
	口径25mm				
	口径25mm以上		140円		
20m ³ 超え 40m ³ 以下	140円	120円		184円	
40m ³ 超え 50m ³ 以下	165円		160円		
50m ³ 超え 60m ³ 以下				160円	223円
60m ³ 超え 100m ³ 以下		190円	195円		
100m ³ 超え 150m ³ 以下	190円			300円	
150m ³ 超え 200m ³ 以下			210円		220円
200m ³ 超え 300m ³ 以下	200円				
300m ³ を超える分					

従量料金：市町で料金が異なる、
秩父市以外では基本水量が設定されている

5

水道料金統一の必要性

地方公営企業法

独立採算制
公正妥当性
適正な原価
健全経営

水道法

公正妥当性
明確性
公平性

覚書

令和3年度
までに
料金統一

料金設定はバラバラ

明確な原価の算出無し

令和3年度の水道料金統一は必要不可欠

平成31年1月から 経営審議会で審議

6

秩父広域市町村圏組合水道事業経営審議会

～経営審議会とは？～

統合後の

- 水道事業の現況
- 事業計画
- 今後の財政見通し



経営環境に相応しい

水道料金の改定率、料金体系を審議

令和元年12月 料金体系の見直しについて(答申)

7

水道事業経営審議会 答申書

～ 概要 ～

1. 料金統一について

令和3年度の水道料金統一は必要不可欠

2. 料金算定方法と料金算定期間について

総括原価方式を採用

令和3年度～令和7年度の5年間とする

5年ごとの料金見直しを行う

8

水道事業経営審議会 答申書

～ 概要 ～

3. 料金改定率について

料金改定率は平均17.91%の引き上げが必要

4. 料金改定の時期について

令和3年4月1日が望ましい

5. 料金体系について

基本料金の割合は30%以上に増加

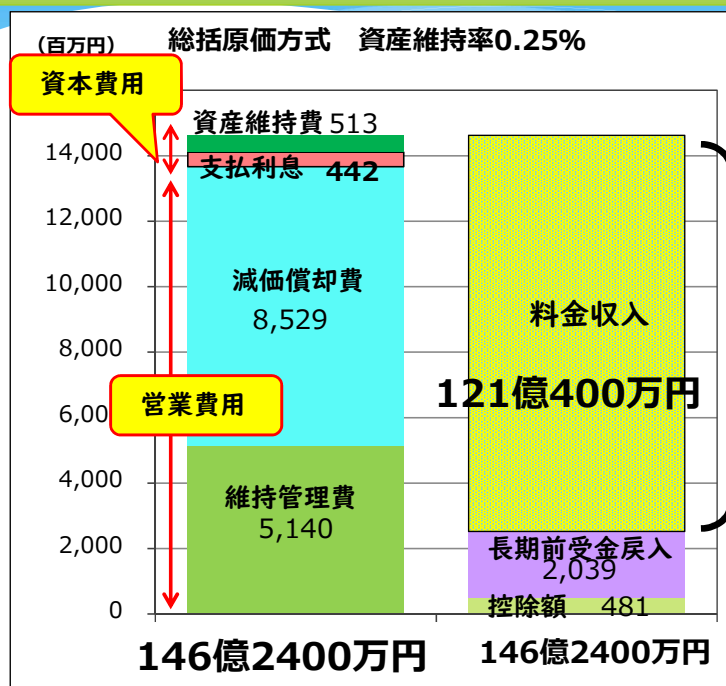
基本水量制の廃止

9

平均改定率17.91%の算出根拠

総括原価：

令和3年～令和7年度まで、5年間146億2400万円



＜供給単価＞

現在の供給単価は
185.44円/m³

17.91%

＜供給単価＞

必要な供給単価は
218.66円/m³

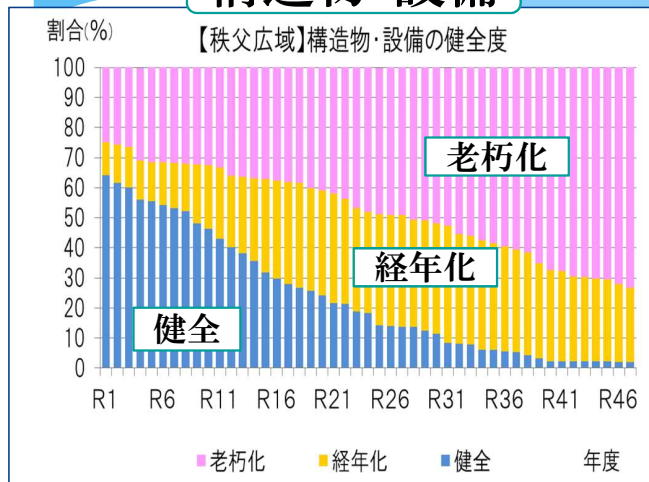
供給単価 = 12,104百万円 ÷ 55,357千m³ = 218.66円/m³

※維持管理費：人件費、修繕費、動力費、委託費等

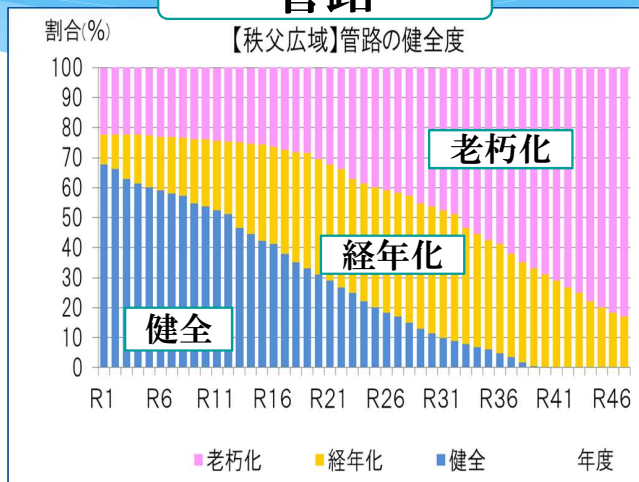
10

継続的な建設投資の必要性

構造物・設備



管路



更新工事を行わなければ、施設の健全度は下がり続ける
今後も計画的な設備投資が必要

11

料金統一方向性の決定

～料金改定の方針～

17.91%の値上げをすると・・・

これまで、別々の料金表を採用していたため地域により大幅な改定率を生じることが予想される。

住民生活や企業活動に及ぼす影響を最小限に抑える

同一事業体における料金統一を確実に実施する

17.91%の料金改定は行わずに
現在の基準料金体系である、
秩父市の料金体系に統一へ

不足する収入額は
構成市町が負担！



12

料金統一における激変緩和措置

～激変緩和による料金統一～

激変緩和措置：秩父市の料金に統一

一般家庭における水道料金（口径13mm、2ヶ月で40m³使用した場合）（税抜）

	秩父市	横瀬町	小鹿野町	皆野町 長瀬町
① 現在の料金	6,160円	5,400円	4,300円	6,680円
② 17.91%値上げの場合	7,230円			
③ 統一料金 （秩父市料金）	6,160円			
差額 ③－①	0円	760円	1,860円	-520円
激変緩和措置 ②－③	1,070円			

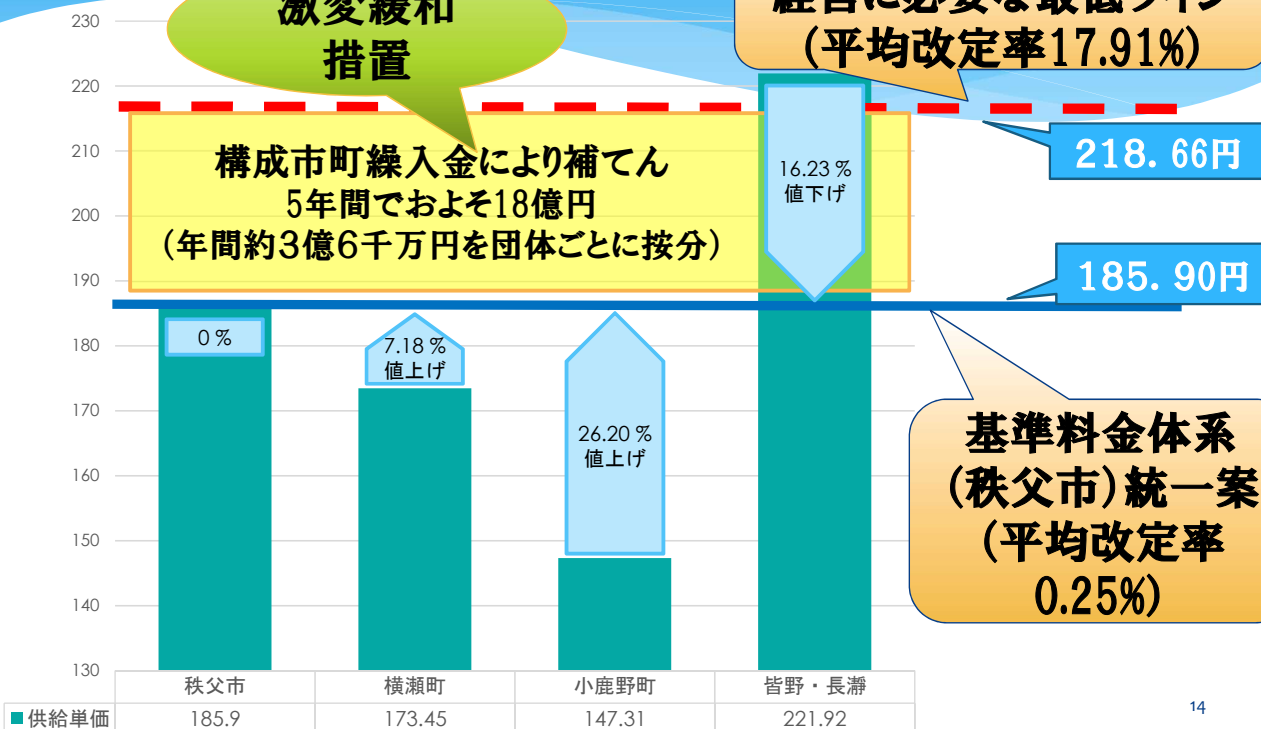
各市町が
不足する収
入額を負担
独立採算の
原則、公正
妥当な料
金とは言え
ない



13

供給単価から見た料金統一イメージ

単位：円

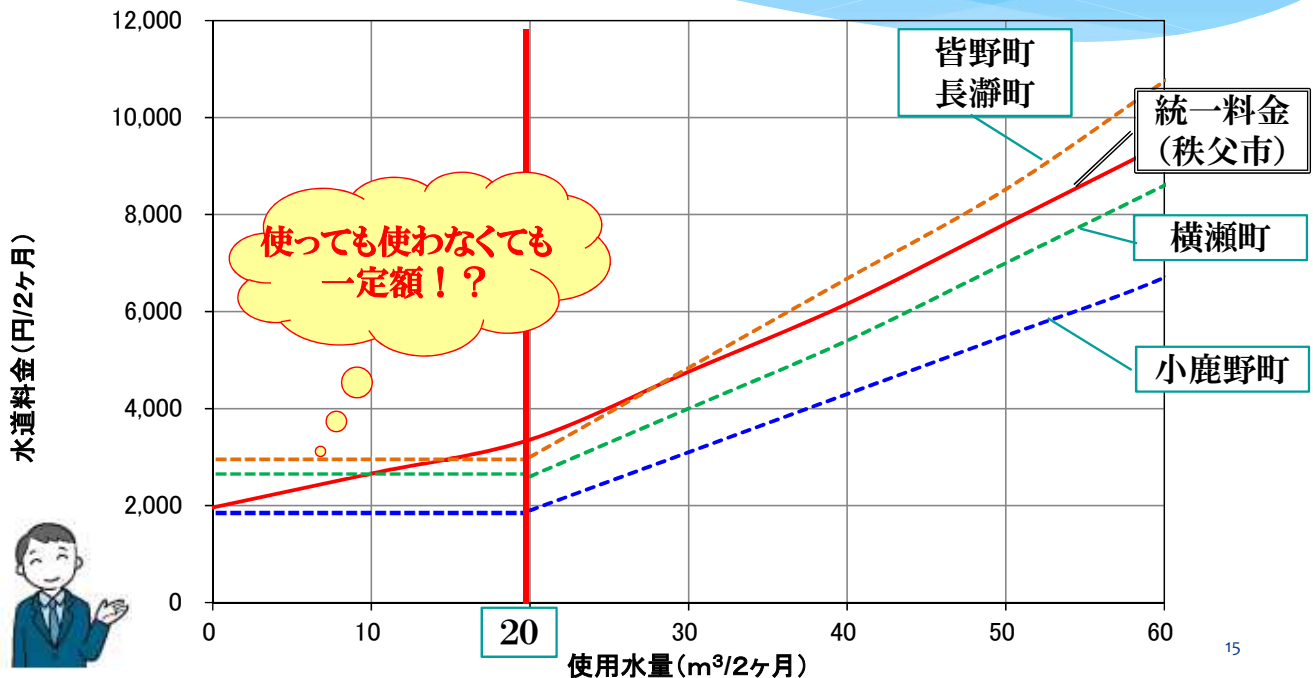


14

基本水量制廃止の影響

～現行の秩父市の水道料金への統一～

口径13mm：一般家庭

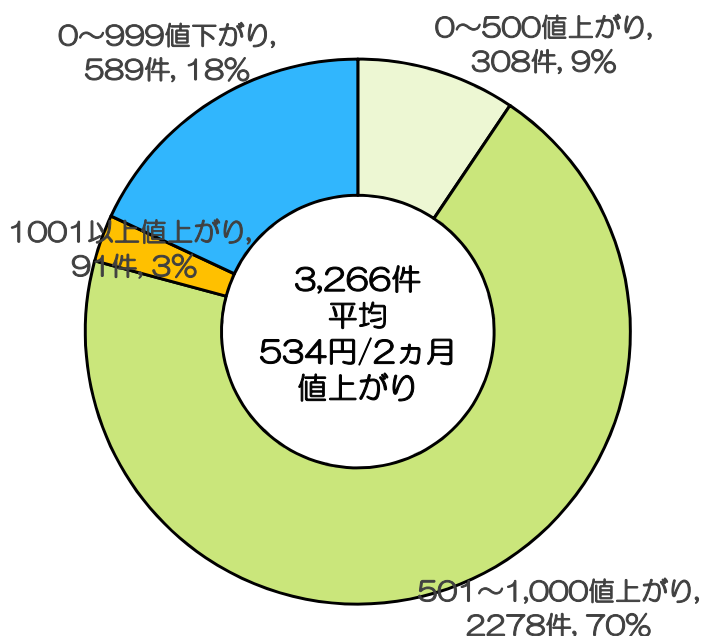


統一により各市町に及ぼす影響

～ 横瀬町 ～

令和2年6月・7月実績より試算

2カ月、口径13mm使用者の状況



9%が、2カ月で500円以内の
値上がりになる。
70%が501円～1,000円以内
の値上がりになる。

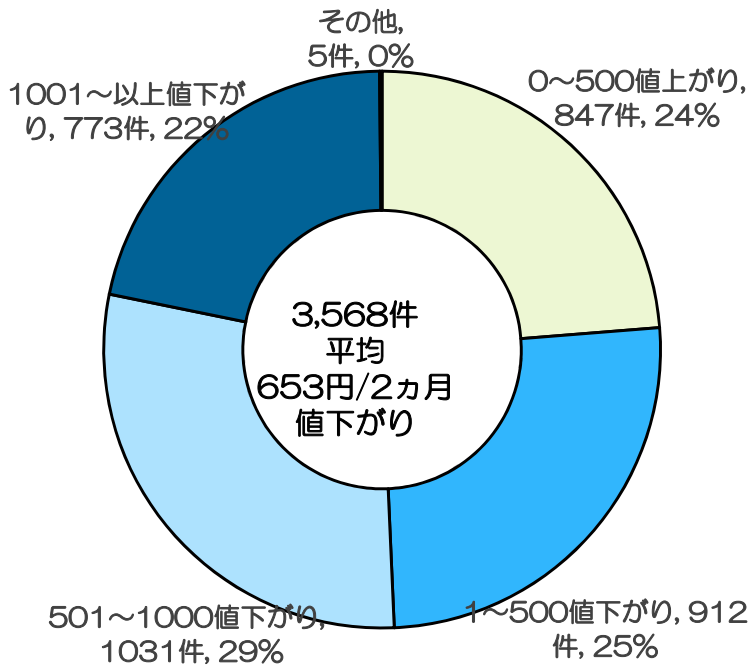
18%が安くなる。

使用者の平均請求額は2か月
で534円値上がりになる。

統一により各市町に及ぼす影響 ～ 皆野町 ～

令和2年6月・7月実績より試算

2カ月、口径13mm使用者の状況



24%が、2カ月で500円以内の値上がりになる。

76%は安くなる。

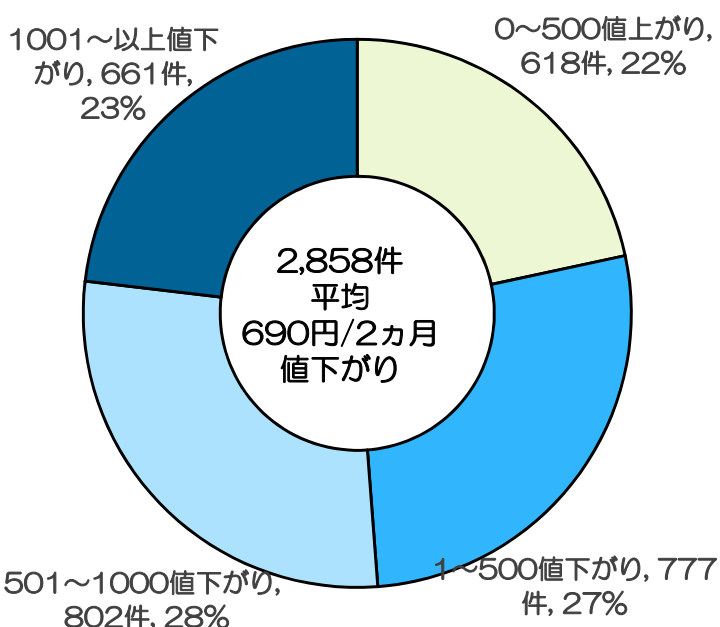
使用者の平均請求額は2か月で653円安くなる

17

統一により各市町に及ぼす影響 ～ 長瀬町 ～

令和2年6月・7月実績より試算

2カ月、口径13mm使用者の状況



22%が、2カ月で500円以内の値上がりになる。

78%は安くなる。

使用者の平均請求額は2か月で690円安くなる

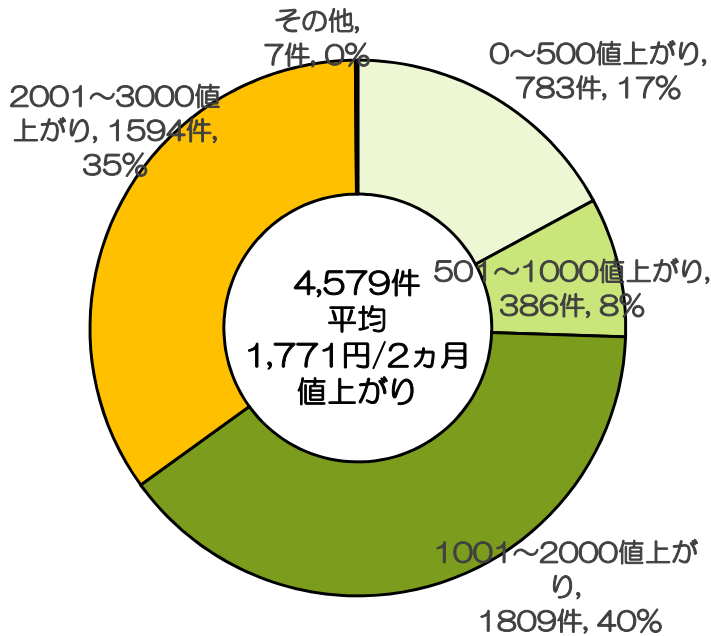
18

統一により各市町に及ぼす影響

～ 小鹿野町 ～

令和2年6月・7月実績より試算

2カ月、口径13mm使用者の状況



17%が、2カ月で500円以内の値上がりになる。
8%が501円～1,000円以内の値上がりになる。
40%が1,001円～2,000円以内の値上がりになる。
35%が2,001円～3,000円以内の値上がりになる。

使用者の平均請求額は2か月で1,771円(1か月885円)値上がりになる。

19

料金統一時期について

～ 新型コロナウイルス感染拡大をふまえ ～

予定通り、令和3年4月1日料金統一実施

ただし、

新型コロナウイルス感染拡大による、住民生活、企業活動への影響を踏まえ

値上がりになる、横瀬町、小鹿野町においては、統一料金の適用を、6か月間先送りすることを予定

先送りに伴う不足額は、横瀬町、小鹿野町より水道会計へ補てん

20

令和3年度からの 構成市町高料金対策補助金

団体名	R3～R7年度全体額	各年度ごとの金額 (A)	＜参考＞ R2年度基準外繰入 予算額 (B)	＜参考＞ 差額 (A)－(B)
秩父市	11億7,550万円	2億3,510万円	2億 730万円	2,780万円
横瀬町	1億4,820万円	2,964万円	1,624万円	1,340万円
皆野町	1億5,890万円	3,178万円	3,221万円	△43万円
長瀬町	1億2,650万円	2,530万円	2,573万円	△43万円
小鹿野町	2億 440万円	4,088万円	6,502万円	△2,414万円
合計	18億1,350万円	3億6,270万円	3億4,650万円	1,620万円

21

料金統一のまとめ

圏域内料金の統一（秩父市体系へ統一）

基本水量制の廃止

**答申で必要とされた収入に不足する額は
構成市町が負担**

5年ごとの料金見直しの実施

横瀬町、小鹿野町における適用6か月先送り

22

方針決定後のスケジュール

- * 令和2年4月、5月 パブリックコメントの実施
- * 令和2年5月 新型コロナウイルスの影響による小鹿野町、横瀬町の統一適用の6か月先送り決定と議会説明
- * 令和2年9～10月 住民説明会の実施
- * 令和2年11月 給水条例改正案の提出と可決
- * 令和2年12月 圏域内商工会へ統一の概要説明
- * 令和3年1月 小鹿野地区の事業者への影響額個別通知の発送
- * 令和3年2月 構成市町との高料金対策補助金(不足する収入に対する繰入金)に係る覚書の締結
- * 令和3年4月 料金統一
圏域内全戸、料金統一のお知らせビラの配布

23

水道料金の現状と今後の課題

- * 前回の改定は答申で必要とされた改定率には遠く及ばない。不足額は一般会計からの繰入金により補填された。
- * 水道事業は、独立採算制(市や町の一般会計に頼らない体制)を維持できるよう、公正妥当で適正な原価を元に算定された料金であることが求められる。
- * 給水人口の減少と、施設設備の老朽化が進む中、現在の料金設定では、数年のうちに資金不足に陥り、広域化事業や管路の更新工事などの建設投資をすることが困難になる可能性がある。
- * 今後5年ごとの投資計画の見直しと料金見直しを行い、適正な料金を検討していく必要がある。

24